

表1 教育目標・努力目標の具現化への取り組み

努力目標	目標となる言葉	目標へ迫る手だて
① 個性の開発 ア. 学習の個別化に努め、基礎学力の充実を図る。 イ. 自己実現を図るための進路指導の充実に努める。	個別化	・到達目標に応じた個別指導 ・生徒が創造的に活動できる授業づくり (授業研究の充実)
	基礎学力	・S. Lチームの指導充実
	自己実現	・特色ある新科目の指導内容、方法の改善、充実 (プロジェクト研究)
	進路指導	・進路指導の個別化、個に応じた指導の充実
② 豊かな心の涵養 ア. 学裁を充実しふれあい教育をすすめる。 イ. 生徒会の充実・自主自立の心を養う。	学裁	・主体的な学校生活を送るための学裁、LHRの洗練・向上
	ふれあい教育	・1人ひとりの実態に応じた生徒指導の充実 ・行事等の充実・洗練化
	生徒会	・生徒の主体的な行動による生徒会活動の質的向上
	部活動	・リーダーの養成 ・生き生きとした部活動
③ 健康の増進 ア. 健康教育を健全な生活で目指す。	健康	・保健安全教育の推進 ・防災教育の推進
	安全	・生活環境の整備の推進
	安心	豊かな心 学校生活・地域社会等におけるボランティア活動の積極的展開
	確立	

② 豊かな心の涵養  
③ 健康の増進

これらの目標を基本とし、トータルな目標としての「スクールアイデンティティの確立」を置き、その目標へ迫る手立てとして表1のような方策を講じている。

それが、楽しい学校づくり、としての「若者の実践十課題とその発展」(Young Practice 10 & then)である。(表2参照)

二 楽しい学校づくりを目指した実践活動

本校での楽しい学校づくりを目指した実践活動は教育課程の中に位置付けられている。そしてそれらは表2に示したように八つのテーマに分かれ、各

① 新学習指導要領を踏まえ、地域に根ざした、かつ、地域に開かれた教育を各教科及び特別活動について実践する。

② 特別活動においては、ホームルーム及び学校裁量時間において意図的、計画的に実施する。

③ 生徒会活動においては、主体的かつ創造的活動を促進し、そのため動機づけ学習を注意深く計画的に実践する。

④ 教科指導としては、全教科において10 & then のねらいと年間

テーマごとに実践主題を有し十課題として具体的活動が行われている。以下このことについて概略を示す。

(1) 「10 (ten) & then」の教育課程への位置付け

表2 地域に根ざした魅力ある学校づくり推進の全体概要

